

まちづくりの現場では近年、統計データなどの客観的な根拠に基づいて政策を立案する「EBPM（証拠に基づく政策立案）」の重要性が高まっています。さらに、不動産価値などの経済的な効果だけでなく、医療費の削減といったヘルスケアの視点からも、まちづくりのインパクトを測る新たな手法が登場しています。第69回適塾路地奥サロンでは、ビッグデータを活用した都市政策の評価に取り組む加登遼氏をお招きし、ヘルスケアデータなどを活用した社会的インパクト評価の最新の知見と、これからのまちづくりの可能性についてお話いただきます。

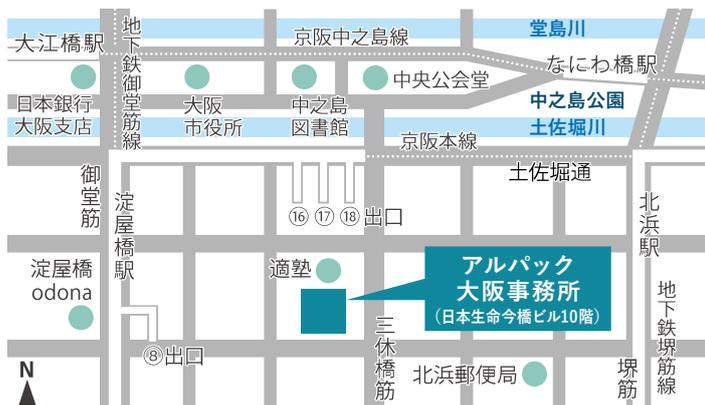
2025

4.25 参加無料 Fri

18:30 ~ Start

会場 アルパック大阪事務所大会議室
およびオンライン開催
※【会場】15名程度(先着) 【オンライン】定員上限無し

アクセス 地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」8番出口から徒歩3分



講師

加登 遼 氏

大阪公立大学 大学院生活科学研究科
居住環境学分野 講師



博士(工学)。京都大学大学院修了。専門は都市計画・まちづくり・都市解析。立命館大学 OIC 総合研究機構 地域情報研究所 客員研究員(～2024年3月)。

「生活」を切り口に、人口減少に伴う都市の課題に対し、都市計画・まちづくりの視点から研究に取り組む。茨木市山手台、堺市泉北ニュータウン、京都市修徳学区などの地域でのまちづくりにも携わる。

申込方法

弊社HPもしくは下記URLの申込フォームから
4/24(木)までにお申し込み下さい。



QRコードよりフォームのURLの取得が可能です。
<https://forms.gle/1ZnQ5YUgkp5HgNFC9>

※お申込み出来ない場合は、
①氏名②所属③電話番号④メールアドレスを明記して
rojiokusalon.arpak@gmail.comまでご連絡ください。

【主催・問合せ先】

株式会社 地域計画建築研究所(アルパック)大阪事務所
〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル10階
TEL: 06-6205-3600 FAX: 06-6205-3601
URL <http://www.arpak.co.jp>